

平成29年度事業報告書

法人の概要

1. 法人名 社会福祉法人景福会
2. 所在地 久留米市青峰3-12-1
3. 設立日 昭和51年11月8日

4. 基本理念及び定款に定める目的

基本理念 和顔愛語 穏やかな笑顔と思いやりのある話し方で人に接します。
目的 利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。

5. 沿革

昭和52年 5月 1日	特養唐孔雀園開設(50床)
昭和56年 5月16日	特養唐孔雀園増床50床、定員100床
平成 4年 5月31日	認知性老人専用居室設置(ひだまりの棟)
平成12年10月 1日	唐孔雀園デイサービスセンター開設
平成18年10月 1日	桜花台園(地域密着型特養20床・小規模)開設、唐孔雀園80床に減床
平成18年11月 1日	桜花台園(短期入所生活介護10床)開設
平成23年10月 1日	唐孔雀園短期入所生活介護事業開始(7床)

6. 事業所

施設名	唐孔雀園	施設名	桜花台園
設立	昭和52年5月1日	設立	平成18年10月1日
所在地	久留米市青峰3-12-1	所在地	久留米市高良内町3919-7
責任者	山崎 美寧子	責任者	山崎 美寧子
事業内容	介護老人福祉施設 80床 短期入所生活介護 7床 地域密着型通所介護 定員15名、元気デイ定員5名 居宅介護支援 配食サービス	事業内容	地域密着型介護老人福祉施設 20床 短期入所生活介護 10床 小規模多機能型居宅介護 登録25名 (通い15名、宿泊7名)

7. 理事・監事

氏名	役職	就任年月
山崎 剛	理事長	H8.4.28
山崎 美寧子	理事	H2.1.1
石橋 力	〃	H10.12.28
秋永 俊二	〃	H28.11.8
寺崎 正一	〃	H29.6.18
板谷 克之	〃	H30.1.13
古賀 昭	監事	H6.5.29
藤島 玄稔	〃	H29.6.18

8. 事業所別職員数(管理者除、派遣含)

H30.4.1現在

職種/勤務形態	唐孔雀園		桜花台園		合計	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
介護職員	(10) 25	8	(13) 21	8	(23) 46	16
看護職員	4	4	2	1	6	5
リハビリ	1	1	0		1	1
ケアマネ・相談員	6		3		9	0
栄養課職員	1		1		2	0
事務職	4		2	0	6	0
運転手・営繕その他	1	3	2	3	3	6
合計	42	16	31	12	73	28

介護職員()内は介護(社会)福祉士。育休等、長期休暇者は除く

9. 財務状況

(百万円)

	28/3	29/3	30/3	
損益	サービス活動収益	537	531	536
	サービス活動増減差額	1	▲24	▲14
	経常増減差額	▲1	▲22	▲15
	当期活動増減差額	▲1	▲22	▲15
	減価償却費	31	31	28
	補助金等積立金取崩	▲11	▲10	▲8
次期繰越収支	317	294	279	
財務	総資産	852	790	763
	自己資本	707	675	652
	借入金	71	57	45

10. 施設・事業別収益状況

(百万円)

	28/3	29/3(A)	30/3(B)	(B)-(A)	
唐孔雀園	特養	312	309	310	1
	デイ	19	18	18	0
	ショート	7	10	11	2
	ケアプラン	2	2	2	0
	給食	4	4	6	2
合計	344	342	347	4	
桜花台園	特養	99	98	97	▲2
	ショート	42	40	41	1
	小規模	52	50	52	2
	合計	193	188	190	2

施設・事業別利用者推移
唐孔雀園

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特養	H29	2,251人	2,462人	2,333人	2,389人	2,483人	2,357人	2,326人	2,282人	2,382人	2,432人	2,176人	2,305人	28,178人
	H28	2,372人	2,366人	2,378人	2,371人	2,463人	2,378人	2,407人	2,276人	2,400人	2,358人	2,083人	2,215人	28,067人
	H27	2,289人	2,443人	2,400人	2,475人	2,373人	2,327人	2,400人	2,355人	2,431人	2,471人	2,321人	2,474人	28,769人
	29-28	-121人	96人	-45人	18人	20人	-21人	-81人	6人	-18人	74人	93人	90人	111人
延数	28-27	73人	-77人	-22人	-104人	90人	51人	7人	-79人	-31人	-113人	-238人	-259人	-702人
	H29	203人	206人	203人	197人	192人	198人	215人	194人	234人	210人	226人	263人	2,541人
デイ	H28	231人	188人	193人	202人	205人	192人	185人	199人	204人	178人	165人	199人	2,341人
	H27	224人	215人	218人	220人	220人	236人	237人	210人	214人	171人	201人	205人	2,571人
	29-28	-28人	18人	10人	-5人	-13人	6人	30人	-5人	30人	32人	61人	64人	200人
延数	28-27	7人	-27人	-25人	-18人	-15人	-44人	-52人	-11人	-10人	7人	-36人	-6人	-230人
	H29	65人	58人	48人	49人	59人	81人	103人	87人	148人	155人	97人	122人	1,082人
ショート	H28	136人	96人	116人	108人	123人	71人	96人	16人	17人	6人	26人	45人	856人
	H27	47人	49人	34人	27人	64人	50人	66人	70人	58人	59人	58人	63人	645人
	29-28	-71人	-38人	-68人	-59人	-64人	20人	7人	71人	131人	149人	71人	77人	226人
	延数	28-27	89人	47人	82人	81人	59人	21人	30人	-54人	-41人	-53人	-32人	-18人
H29		20件	21件	19件	20件	20件	20件	21件	21件	21件	21件	17件	19件	240件
居室	H28	20件	18件	20件	19件	22件	23件	22件	22件	20件	18件	18件	18件	240件
	H27	19件	18件	18件	20件	20件	20件	21件	19件	20件	19件	20件	20件	234件
	29-28	0件	3件	-1件	1件	-2件	-3件	-1件	-1件	1件	3件	-1件	1件	0件
請求数	28-27	1件	0件	2件	-1件	2件	3件	1件	3件	0件	-1件	-2件	-2件	6件
	H29	574食	677食	741食	755食	646食	653食	978食	1,068食	1,121食	964食	1,047食	1,212食	10,436食
給食	H28	593食	520食	580食	515食	561食	515食	544食	487食	506食	460食	419食	452食	6,152食
	H27	667食	565食	656食	605食	584食	546食	666食	589食	576食	557食	577食	618食	7,206食
	29-28	-19食	157食	161食	240食	85食	138食	434食	581食	615食	504食	628食	760食	4,284食
延食数	28-27	-74食	-45食	-76食	-90食	-23食	-31食	-122食	-102食	-70食	-97食	-158食	-166食	-1,054食

桜花台園

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特養	H29	593人	605人	592人	613人	620人	579人	589人	577人	620人	612人	548人	615人	7,163人
	H28	588人	611人	584人	606人	620人	600人	620人	600人	600人	620人	560人	617人	7,226人
	H27	586人	589人	592人	620人	569人	551人	588人	584人	620人	604人	580人	611人	7,104人
	29-28	5人	-6人	8人	7人	0人	-21人	-31人	-23人	20人	-8人	-12人	-2人	-63人
延数	28-27	2人	22人	-8人	-14人	51人	49人	22人	16人	-20人	16人	-20人	6人	122人
	H29	285人	296人	274人	277人	298人	287人	294人	291人	277人	251人	222人	259人	3,311人
ショート	H28	282人	259人	265人	290人	300人	260人	256人	261人	261人	282人	257人	286人	3,259人
	H27	270人	275人	274人	273人	278人	276人	281人	284人	284人	284人	280人	296人	3,365人
	29-28	3人	37人	9人	-13人	-2人	27人	38人	30人	16人	-31人	-35人	-27人	52人
延数	28-27	12人	-16人	-9人	17人	22人	-16人	-25人	-23人	-33人	-2人	-23人	-10人	-106人
	H29	523人	496人	499人	519人	579人	595人	580人	674人	653人	613人	592人	618人	6,941人
小規模	H28	514人	557人	493人	482人	462人	454人	481人	490人	519人	465人	476人	540人	5,933人
	H27	543人	573人	546人	529人	546人	550人	546人	498人	508人	523人	509人	514人	6,385人
	29-28	9人	-61人	6人	37人	117人	141人	99人	184人	134人	148人	116人	78人	1,008人
延数	28-27	-29人	-16人	-53人	-47人	-84人	-96人	-65人	-8人	11人	-58人	-33人	26人	-452人

特養の利用者諸表(唐孔雀園+桜花台園)

入所年齢別・性別 (単位：名)

性別\期間	60～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	計	平均年齢
男	3	3	3	5	5	1	1	0	21	81.8歳
女	3	4	12	11	18	15	13	1	77	86.3歳
計	6	7	15	16	23	16	14	1	98	85.3歳

男性 最高 99歳 最低 56歳
女性 最高 101歳 最低 65歳

在所期間 (単位：名)

性別\期間	2年未満	2～3年未満	3～4年未満	4～5年未満	5～6年未満	6～7年未満	7～8年未満	8～10年未満	10～15年未満	15年～	計
男	10	2	3	0	0	1	2	1	1	1	21
女	21	8	9	10	5	5	6	8	3	2	77
計	31	10	12	10	5	6	8	9	4	3	98

ADL調査表 (単位：名)

区分	食事	着衣	入浴	歩行
自分で出来る	35	5	4	10
介助で出来る	25	36	35	15
全然出来ない	23	57	59	83
経管栄養	11			
胃ろう	4			

問題行動や症状の有無及び内容(重複あり) (単位：名)

問題行動	名	率(%)	問題行動	名	率(%)
徘徊(ウロウロ・落ち着きない)	10	10.2%	独語	11	11.2%
大声・暴言	14	14.3%			
暴力・介護抵抗	14	14.3%			
収集癖	3	3.1%			
異食	4	4.1%			
不潔行為	11	11.2%			

要介護度状況 (単位：名)

介護度	I	II	III	IV	V	合計	平均介護度
男	1	0	5	6	9	21	4.0
女	2	4	11	21	39	77	4.2
計	3	4	16	27	48	98	4.2

事業実績表(法人本部・事務部門)

理事会・評議員会

実施日	名称	場所	参加者数	内容
5月17日	監事監査	唐孔雀園 会議室	2名	平成28年度事業報告・財産目録・ 貸借対照表・収支計算表等の監査
5月27日	理事会	唐孔雀園 会議室	理事 5名 監事 1名	平成28年度事業・決算報告・監査報告の承認、定款細 則の全面改訂、次期理事・監事の評議員会への推薦 定時評議員会の招集
6月18日	評議員会	久留米市 マリアレ創世	評議員 6 名 理 事 2名	平成28年度決算報告・監事監査報告の承認 任期満了に伴う理事・監事の選任 平成28年度事業報告
6月18日	理事会	久留米市 マリアレ創世	理 事 6名 監 事 2名	理事長選任 唐孔雀園建物の今後の方針
8月31日	理事会	唐孔雀園 会議室	理 事 6名 監 事 2名	唐孔雀園耐震調査について 唐孔雀園苦情解決第三者委員の交代
11月25日	理事会	唐孔雀園 会議室	理 事 5名 監 事 2名	育児・介護休業規程の変更 理事候補の推薦 29年度上期実績報告
12月18日	理事会	唐孔雀園 会議室	理 事 5名 監 事 2名	理事候補の評議員会への推薦 評議員会の招集 一部事業の存続・整理の検討
1月13日	評議員会	唐孔雀園 会議室	評議員 5 名 理 事 2名	理事の選任

3月12日	理事会	唐孔雀園 会議室	理事 6名 監事 2名	平成29年度補正予算 平成30年度事業計画および予算 評議員会の招集
3月24日	評議員会	唐孔雀園 会議室	評議員 5 名 理事 2名	平成29年度補正予算 平成30年度事業計画および予算

本部主催研修

実施日	名称	場所	参加者数	内容
1月15日	小規模多機能の 運営管理実務講座	桜花台園 ホール	16名	桜花台園幹部および小規模職員、唐孔雀園デイサー ビス職員向けの勉強会
3月8日	介護報酬改定勉強会	桜花台園 ホール	14名	唐孔雀園・桜花台園の課長・主任およびケアマネ・生活 相談員対象に勉強会実施

外部研修・説明会

実施日	名称	場所	参加者数	内容
7月10日	社会福祉法人 役員研修会	久留米市 えーるピア	1名	「社会福祉法改正を踏まえた法人のあり方、心構え」 市健康福祉部による指導監査の説明
7月31日	我が事・丸ごと 地域貢献セミナー	福岡市 JR博多シティ	1名	地域共生社会の実現に向けて
8月8日	平成29年度第2回 社会福祉法人 経営者セミナー	福岡市 九州ビル	1名	改正社会福祉法施行後の法人経営等
8月17日	リハビリ型デイサービ スフランチャイズ説明 会	久留米 商工会議所	1名	全国でフランチャイズ経営をしているリハプライド のリハビリ特化型デイの説明会
8月29日	企業経営者・総務人事 労務担当者向けセミ ナー	久留米地域 職業訓練セン ター	1名	職場のハラスメントについて
9月4日	外国人技能実習生法 案説明会	筑後市 公園の宿	1名	外国人技能実習生の介護職への拡大
9月8日	日本経営セミナー	福岡市 エルガーホール	1名	医療介護同時改定に向けた経営戦略について
9月14日	福祉サービス苦情解決 事業従事者研修会	春日市 クローバープラザ	2名	運営適正化委員会による苦情受付状況報告 「福祉サービスにおける苦情解決の課題」
9月23日	平成30年度医療・介護同時 改定に向けた経営戦略	福岡市 エルガーホール	1名	地方行政と医療・社会福祉法人等における実践 地域包括ケアにおける事業戦略と組織運営のポイント
10月16日	外国人技能実習生制度 における介護職種への追 加に関する説明会	福岡市 都久志会館	1名	外国人技能実習生の介護職への拡大
10月25日	福岡県社会福祉大会	春日市 クローバープラザ	1名	記念講演「地域力を育む」等
11月27日	介護現場における 業務効率化説明会	久留米市 シティプラザ	1名	介護現場における業務効率化について
12月6日	平成29年度第3回 社会福祉法人 経営者セミナー	福岡市 JR博多シティ	1名	ここで差がつく！明日からの 社会福祉法人経営
12月15日	南部地区障害者 雇用促進セミナー	久留米市 久留米 ビジネスプラザ	1名	障害者雇用の状況
1月31日	福岡県食生活改善大会	福岡市 パビヨン24 ガスホール	1名	食と健康推進フォーラム 唐孔雀園「県知事表彰
3月20日	社会福祉法人監事研修	春日市 クローバープラザ	1名	社会福祉法人制度改革を踏まえた監事の役割・ 責任
3月27日	福岡県老人福祉施設 協議会総会	福岡市 ANAクラウン プラザホテル	1名	平成30年度介護報酬改定について等

唐孔雀園(特養・ショート)

■運営

・全般

施設課においては、利用者様がその人らしく安心して生活を送って頂けるよう、より良い施設サービスの提供に取り組んできました。安全面においては、見守り不十分が原因での転倒・転落事故が同じ利用者様で複数回見られました。見守り強化のための人員補充や福祉用具の活用、職員の事故防止のため技術習得、意識向上がますます必要になると思われます。

衛生面においては、今年度はインフルエンザ等の罹患者がでませんでした。

今後も清掃担当職員と協力し、感染症の発生を未然に防げるように、引き続き衛生面に留意して環境整備に努めていきます。

食事については、引き続き経口維持加算の取組を行い、詳細な記録、安全な介護技術の統一を行いました。今後も職員への資質の向上として再指導と園内研修により事故が起きないように取り組めます。

また、毎日の業務に追われ、利用者様の状態把握や申し送りが不十分になることがありました。今後の課題として、利用者様一人一人に対する個別ケアの意識づけと知識、技術の向上に努めていく必要があります。

■施設サービス計画

担当者会議は、通常1年に1回開催し施設サービス計画書を作成していますが、退院後や体調不良等によりADLの低下が見られた際は、その都度会議を開催して施設サービス計画書の見直しを行っています。

また新規入所の利用者様については、暫定プランを作成し、入所後1ヶ月以内と6ヶ月後に会議を開催し、施設サービス計画書を作成しています。

■リハビリ

利用者様のリハビリは、機能訓練室または、ベッドサイドで行っています。

ベッドサイドでは機能訓練・ポジショニングを中心、機能訓練室では身体機能訓練を実施しています。

また、日常生活の中に運動機会を設け、身体機能維持・向上とADL能力のアップを図っています。

主な訓練内容は関節可動域、筋力増強、基本動作、歩行、ADL練習、物理療法等です。

機能訓練室での対応時は、複数人数対応とし、身体機能面だけでなく精神的賦活に繋げていけるような取組を行うと同時に介護職員への園内研修を実施しています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
施術数 (1日平均)	24.5	25.0	25.9	25.4	27.7	24.7	26.0	27.4	28.1	27.6	28.0	26.3	26.4

■ショートの利用推進

H29年度は、1日平均2.96名(前年度比+0.61名)で稼働率42.3%、延べ利用者は1,082名で期了。

年度の動きでは8月までは稼働率が26%程度で推移し、9月以降稼働率が徐々に上昇、1月に75%まで上昇しましたが、特養への入所等で3月は56%に留まりました。

29年度は病院のSWから直接依頼があり、病院から直接ロング利用となるケースも多く、新規の居宅支援事業所のケアマネとの情報の交換等ができ、新たな紹介にも繋がりました。

H30年度は、引き続き地域包括支援センターや居宅介護支援事業所のケアマネ、病院のSW等へ連絡し新たな紹介者の依頼及び特養に入所申込みをされた方に案内する事で、利用者獲得に努めていきます。

■利用者・家族との関係作り

H29年度は、ご家族様の来園時に日頃の様子を伝える等、コミュニケーションを取りながらご家族が不安にならないように配慮する事ができました。

ご家族様からの指摘等は、迅速に対応策を立てご家族様に説明し納得いただくように心がける事ができました。また、家族懇談会でご家族様の声を聴き、その声を職員同士で共有するよう努力しましたが、まだ十分とは言えず来年度も引き続き努力してまいります。

■入所待機者の確保

H29年度も入所申込み数が少なく、入所待機者数も減少傾向です。居宅介護支援事業所や地域包括支援センター・病院等へ利用者様の紹介依頼分をFAXしていますが、入所申込み者数の確保につながることは少なく、入所待機者数の確保まで至らない状況でした。現在は特養入所待ちのショートの方の積極的に受入れ、入所待機者の確保に繋がっています。

■職員教育(研修)

H29年度は、県社協、老協主催の研修及びその他の研修には人員不足により計画どおり参加できませんでした。園外研修参加減少したことにより、フィードバック研修の機会も少なくなりました。

また園内研修も職員が講師となる為準備不足により、計画どおりに進める事ができませんでした。

今後は、園外及び園内研修の実施を計画どおりに行い、職員の資質及び技術の向上に努めます。

■各種委員会(改善点できたもの・改善中のもの)

・排泄ケア委員会

H29年度は、各利用者様の快適な生活向上と清潔を保つ為に以前のパットを廃止し、新しいパットの納入を行いました。結果、失禁も減り、肌触りが良く、蒸れも少ない為褥瘡等の軽減されています。

- ・感染症対策委員会
H29年度も感染予防の基本は、職員に周知徹底ができたのではないかと思います。感染症の流行期には都度委員会を開催し対応策を決定し実行したことにより、インフルエンザ等の罹患者の発生はありません。但し、発熱者が多数出た為一時的に面会制限の実施及食堂や行事等を一部中止しました。
- ・事故防止対策委員会
施設を利用される利用者様及び来園されるご家族様や職員等が、事故や怪我等なく安全に過ごせるよう、定例会(月1回)にて広く情報収集、対策の立案等を行ってきました。
今後は、施設全体として安全面の強化をするべく、ヒヤリハット報告書を出しやすい雰囲気作り、委員会を中心にしたリスクマネジメントの体制を整備していきます。
- ・褥瘡対策委員会
H29年度も褥瘡予防に努めましたが、体位交換の指導が職員全員に行き届かなかった事や、利用者様の栄養状態の低下により褥瘡発生者が数名見られました。
また、同じ利用者様が何度も褥瘡が発生し、リハビリスタッフや医師・栄養士と連携し、全員に体位交換の指導を行うとともに栄養面からのサポートも実施し、今後も予防を第一目標として取り組んでいきます。
- ・身体拘束廃止委員会
身体拘束廃止に向けて努力してきましたが、4名(前年度5名)の方が身体拘束状態です。
内訳は経管チューブ自己抜去及び搔痒感による掻き廻り防止のためのミトン使用3名、経管チューブ自己抜去の為ミトン+抑制帯使用と転落リスク高いため、ベッド2点柵実施1名。
毎月1回定期的に委員会を開催し、身体拘束を行っている利用者様の状態や身体拘束の必要性について検討・見直しを行う事により、身体拘束ゼロを目指していきます。
- ・接遇委員会
接遇マナーは、職員間でお互いに注意する環境作りはできていましたが、利用者様に対する言葉遣いが不十分な職員も一部見受けられます。
利用者様やご家族様とのコミュニケーション不足の職員も見られ、他の職員がフォローしている状況です。
今後も良好なコミュニケーションがとれるように職員全員で協力していきたいと思っております。
- ・入浴ケア委員会
利用者様に対してのプライバシー配慮については問題ありませんが、日によって人員不足により、時間内に終わらせなければという意識からゆとりのある入浴介助が出来ないこともありました。
入浴介助中の怪我は少なくなってきましたが、事故リスクがあるため新たな福祉用具の検討が必要と思われる。

■利用者諸表(特養)(H30年3月31日現在)

入所年齢別・性別 (単位：名)

性別\期間	56～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	計	平均年齢
男	3	3	3	4	4	1	0	0	18	80.3歳
女	3	4	10	6	15	12	9	1	60	85.8歳
計	6	7	13	10	19	13	9	1	78	84.6歳

男性 最高 91歳 4月 最低 56歳 4月
女性 最高 101歳 1月 最低 65歳 4月

在所期間 (単位：名)

性別\期間	2年未満	2～3年未満	3～4年未満	4～5年未満	5～6年未満	6～7年未満	7～8年未満	8～10年未満	10～15年未満	15年～	計
男	10	2	1	0	0	0	2	1	1	1	18
女	15	5	8	7	5	5	6	4	3	2	60
計	25	7	9	7	5	5	8	5	4	3	78

ADL調査表 (単位：名)

区分	食事	着衣	入浴	歩行
自分で出来る	29	3	3	9
介助で出来る	20	27	27	2
全然出来ない	15	48	48	67
経管栄養	10			
胃ろう	4			

問題行動や症状の有無及び内容(重複あり) (単位：名)

問題行動	人	率(%)	問題行動	人	率(%)
徘徊(ウロウロ・落ち着きない)	7	9%	独語	8	10%
大声・暴言	11	14%	幻視・幻聴	6	8%
暴力・介護抵抗	10	13%	物を破る	0	0%
収集癖	3	4%	帰宅願望	4	5%
異食	2	3%	物盗られ妄想	2	3%
不潔行為	6	8%	被害妄想	5	6%

要介護度状況

(単位：名)

介護度	I	II	III	IV	V	合計	平均介護度
男	1	0	5	5	7	18	3.9
女	2	4	8	16	30	60	4.1
計	3	4	13	21	37	78	4.1

■行事实績

実施時期	行事名	内容・成果
毎週土曜日	生花教室	毎回、生花は園内ロビー等に飾っており、利用者様やご家族に好評。
月2回	音楽リハビリ	利用者の7割程度がいつも参加され、非常に楽しみにされている。日頃、発語がない方も唱歌や童謡は口ずさまれている。
第4月曜日	誕生会	誕生カード・バラを渡し、お祝い。ご家族に誕生会の様子を手紙と写真で知らせることで、ご家族も喜ばれている。
第4月曜日	口腔ケア指導	さくら歯科訪問歯科診療の歯科衛生士より口腔ケア指導を受ける。
5月14日	母の日	利用者様に母の日のプレゼントとしてカーネーション・カードを渡す。
5月21日	創立40周年記念行事	式典で祝辞、祝吟・ピアノ演奏・祝舞、家族懇談会実施。
6月8日	防火避難訓練	久留米広域消防署・角消防の指導による防火訓練が行われた。
6月18日	父の日	利用者様に父の日のプレゼントとしてバラ・カードを渡す。
7月7日	七夕	6月より利用者様と共に七夕飾りを作り、竹を用意し玄関ロビーと各棟に飾る。利用者様には願い事を短冊に書いて頂く。
7月16日	盆踊り大会	日中、訓練室にて盆踊り大会を行う。利用者様・ご家族様も一緒に盆踊りを踊られる。他にカラオケ・ゲーム・バザーも催しあり。
8月12日	盆供養	昨年の8月より亡くなられた利用者様の初盆の供養
9月15日	長寿のお祝い(贈呈式)	久留米市役所より90歳・95歳・100歳の利用者様へ祝状・祝金贈呈
9月18日	第41回敬老大会	式典では祝辞、長寿の祝いで頂いた祝状等贈呈及び米寿等の利用者様も祝う。午後、家族懇談会、祝舞・大正琴・ピアノ
10月19日	運動会	訓練室にて運動会を行う。綱引き・玉入れ等5種目の競技実施。
11月16日	防火避難訓練	久留米広域消防署・角消防の指導による防火訓練が行われた。
12月14日	年忘れ大会	訓練室のクリスマスツリーや飾り付けを行い、職員によるカラオケや出し物・音楽リハ・ピアノソロ。サンタによるプレゼント贈呈。
1月1日	新年祝賀式典	理事長出席の下、式典を行う。
2月中旬	お雛様飾り	玄関ロビーにお雛様を飾り付ける。

■研修実績 (園外研修)

実施時期	研修名	内容・成果
6月5日	H29年度集団指導	介護保険制度に係る情報、届出等
6月29日	医療・介護従事者交流会	課題の共有
6月30日	第1回施設部会研修	介護現場の接遇セミナー
8月23日	生活相談員研修	社会福祉施設における相談員の役割
9月13日	福祉サービス苦情解決従事者研修	福祉におけるクレーム対応について
10月30日	特別養護老人ホーム部会セミナー	口腔ケアの理解と実践
11月2日	中堅職員研修	人材確保、育成のための職場研修推進
11月8日	特別養護老人ホーム入所者の診療に関する講習会	入所者の診療の取り扱いに関する講習会
11月13日	久留米市医療安全対策研修会	久留米市の結核の現状について
H30年1月12日	高齢者虐待防止研修	久留米市要介護施設における高齢者虐待防止研修
H30年1月26日	老施協第22回研究大会	永年勤続表彰、研究発表会
H30年3月20日	介護報酬改定等説明会	H30年度介護報酬改定等説明会
H30年3月21日	ケアマネジメント実践力向上研修会	施設ケアマネジメントの理解と施設ケアプラン作成のポイント

(園内研修)

実施時期	研修名	内容・成果
4月13日	倫理及び法令遵守について	介護職員の職業倫理について学ぶ。
4月24日 5月22日	口腔ケアについて	歯科衛生士より高齢者のための口腔ケアについて
5月11日	接遇研修①	施設職員のための接遇マナーについて
5月29日	正しいオムツ装着①	ケアルートより正しいオムツの当て方について
6月26日	食中毒の予防・まん延防止	食中毒発生予防について
6月12日	感染症予防・まん延防止	感染症予防と手洗いについて
6月29日	身体拘束廃止・虐待研修	認知症の高齢者虐待について
7月10日	褥瘡のメカニズム①	褥瘡発生のメカニズムについて
7月26日	認知症ケア	認知症の原因疾患及びケアについて
8月8日	事故の発生予防及び再発防止	高齢者施設のリスクマネジメント研修
8月28日	医療に関する教育	喀痰吸引と酸素投与
9月7日	事故の発生等の心肺蘇生について	救急救命士より心肺蘇生について、実技含む
10月5日	プライバシーの保護の取り組み	介護におけるプライバシー保護の重要性
10月30日	接遇研修②	施設職員のための接遇マナーについて
11月13日	褥瘡の予防と管理②	褥瘡の予防とケアの仕方について
11月16日	正しいオムツ装着②	ケアルートより正しいオムツの当て方について
12月11日	インフルエンザ・ノロウイルス	冬の感染症とその予防対策について
1月16日	リハビリ	高齢者の座位機能と車椅子との関連性について
2月12日	正しい食事介助方法	安全な食事介助について
3月12日	ターミナルケア	ターミナル期の状態及び流れについて

■地域交流

実施時期	行事名	内容・成果
8月26日	青峰校区夏祭り	青峰校区の子供会のおみこしが来て、利用者様と触れ合う。
10月28日	人権のつどい	明星中学校にて施設紹介と利用者様の作品展示
11月18日	高良内校区文化祭	利用者様の作品展示
12月3日	青峰校区文化祭	利用者の作品展示、職員もちつき参加。 文化祭当日、利用者様は職員と共に見学する。
3月1日	第3回介護予防教室	消費者生活センターより『悪質商法の手口とその撃退法』

唐孔雀園(デイサービスセンター)

■運営全般

- ①利用者に対する、日々の体操、口腔体操及び毎月の行事であるケアピクス、音楽リハビリ、健康体操等を通じて、身体機能の維持・向上を図り、日常生活の自立支援に努めた。
- ②利用者一人一人の心身の状態、置かれている環境を踏まえて、職員の経験と研修等で習得したサービスの提供に努めた。
- ③久留米市、地域包括支援センター、利用者の担当医、地域の社会福祉協議会、コミュニティセンター、老人会等との情報収集・交換に努め、地域の諸行事に積極的に参加し、地域福祉の拠点として地域に貢献した。

重点項目に対する評価

- ①利用者に対して、尊敬と敬愛の気持ちで接し、明るい笑顔と心安らぐ対応を心掛けて、満足できる1日を過ごしていただけるように努めた。
- ②利用者の、地域密着型通所介護計画書等のサービス計画書に基づき、介護・看護等を実施し、利用者及び家族の身体的・精神的負担の軽減に努めた。
- ③地域密着型通所介護事業所、介護予防・日常生活支援総合事業所として、地域包括支援センター、居宅支援事業所等への定例訪問及び新規訪問を励行するとともに、地域の諸行事に積極的に参加し、1日体験、見学等の情宣活動を実施し、新規利用者の増加に努めた。
H29年度末利用者数 28名(H28年度末 18名) H29年度新規利用者数 14名(H28年度 7名)
- ④諸行事のマンネリ化を防止するために、外食レクリエーション等、利用者の意見を取り入れながら、1日を楽しく、喜んでいただけるように、魅力ある充実した行事の実施に努めた。
- ⑤養成講座、交流会、セミナー等の外部研修への積極的な参加、職員講師による毎月の内部研修を実施し職員のスキルアップを図るとともに、情報の共有化に努めた。

■地域交流

実施時期	行事名	内容・成果
7月	青峰校区子供会	子供神輿祭りで来園、利用者と子供さんたちとの懇親が図られた
12月	青峰校区文化祭	利用者の書道、はり絵、手芸品等の作品を展示した

■行事実績

実施時期	行事名	内容・成果
4月	お花見	つつじ園見学(高良山 延18名)
5月	バスハイク	バラ園見学(久留米文化センター 延16名参加)
6月	お花見	紫陽花見学(高良内あじさいロード 延16名参加)
7月	そうめん流し	竹を使い、本格的なそうめん流し(延23名参加)
8月	夏祭り	屋台を作り、ゲーム、かき米等でお祭り気分を味わう(延24名参加)
9月	敬老会	職員による演芸等で敬老の日を祝う(15名参加)
10月	運動会	利用者様と職員合同で紅白に分かれての運動会(9名参加)
11月	茶話会	クイズ形式によるグループ対抗戦(10名参加)
12月	年末お楽しみ会	クリスマス会と一緒に実施、カラオケ、ケーキ作り(延20名参加)
1月	初詣	七木地藏尊(延13名参加)
2月	節分	豆まき(延21名参加)、梅林寺梅花見学(9名参加)
3月	ひな祭り	道の駅くるめ(13名参加)、桜花見(延27名参加)
・毎月実施		
毎月	音楽リハビリ	皆んなで楽しく歌い、体操しながらリハビリを実施(専任講師)
毎月	ケアピクス	無理なく、介護予防に役立つ体操を実施(専任講師)
毎月	誕生会	毎月、誕生者に、ケーキと花束、色紙を贈呈しお祝いした
毎月	おやつ教室	季節感を味わうとともに、利用者同士、職員との懇親に役立てた
毎月	お買い物	道の駅、ショッピングセンター等で、買物を楽しんでいただいた
毎月	ビデオ上映会	利用者の若かりし頃の、娯楽作品を中心にビデオ上映を行った

唐孔雀園(ケアマネジメント課)

■運営

全般

高齢者の皆様が、支援や介護が必要になった時、住み慣れた自宅で生活が継続できるように介護保険サービスを中心に活用しながら支援を行いました。

しかし、核家族化に伴い独り暮らし・高齢者世帯が多くなり、在宅サービス(介護保険)が中心となっているため、介護面の不足が生じやすく居住系サービス(ケアハウス・サービス付き高齢者向け住宅)へ住み替えが多くなっています。さらに、費用負担が少ない、特別養護老人ホーム・老人保健施設・療養型施設への紹介・調整のニーズも高まっています。平成29年度より、介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)が導入され、要支援者の方(デイサービス・ホームヘルプの利用者)へのサービス量の減少が生じましたが、インフォーマルサービス(公民館活動・社協サービス・ボランティア)などを活用して、地域への社会参加につながるよう支援を実施しました。

目標に対する実績

久留米市介護福祉サービス事業者協議会・久留米市地域包括支援センター・久留米市役所(長寿支援課・介護保険課・生活支援課等)との連携を図りながら、介護保険サービス及び高齢者福祉サービスを活用して、利用者への居宅介護支援業務を適切に出来た。また、困難ケースについては各機関と調整を行い実施しました。さらに、各医療機関(ソーシャルワーカー)との関係を密に行い、利用者の紹介及び在宅復帰の円滑化を図ることが出来ました。

取り組み事項の成果

地域の皆様へ、介護保険及び高齢者福祉サービスの理解を深めて頂くために、当法人における介護予防教室の実施及び久留米市介護福祉サービス事業者協議会(副部会長)及び久留米市地域在宅医療他職種地域リーダー等の役割に携わることが出来ました。

また、久留米市介護保険課より委嘱、「ケア豆辞典」の編集にも参加し、様々な取り組みの結果、地域での認知度が高まり、当法人の支援活動を行いやすい環境づくりが図られたと思っています。さらに、母体施設(特養)の広報活動へもつながりました。

実施時期	行事名	内容・成果
5月12日	在宅医療介護連携推進事業 第1回介護代表者協議	退院調整ルール作成
5月17日	在宅医療介護連携推進事業 第1回医療・介護合同会議	医療関係者とケアマネの情報共有 退院調整ルール作成
8月9日	在宅医療介護連携推進事業 第2回介護代表者協議	退院調整ルール作成

■研修実績

実施時期	行事名	内容・成果
5月29日	平成29年度 福岡県集団指導	講師:久留米市役所 介護保険課 「平成29年度 居宅介護支援業務についての変更点」
7月21日	久留米市介護福祉サービス 事業者協議会 介護支援専門員部会 主催	講師:行徳内科 関先生 「糖尿病の知識」
9月15日	久留米市役所介護保険課 総合事業チーム 主催	講師:久留米市役所 介護保険課 総合事業チーム 「総合事業と自立支援」
11月17日	久留米市介護福祉サービス 事業者協議会 介護支援専門員部会 主催	講師:NPO おせっかい工房 田中先生 「ケアマネのためのメンタルの力の活かし方講座」
1月12日	平成29年度久留米市老協 研修会	講師:久留米市 介護保険課 柴尾課長 「総合事業移行から半年を迎えて」
1月12日	久留米市役所 長寿支援課	講師:福岡県社会福祉士会 稲吉先生 「平成29年度 久留米市高齢者虐待防止研修」
3月16日	久留米市介護福祉サービス 事業者協議会 介護支援専門員部会 主催	「人とのかかわりの中からより良いケアプランを作る為に」

桜花台園(特養・ショート)

■運営

【特養】

- ①年間2回(9月、3月)入所検討委員会を開催し、待機者は25名(前年比▲8)、22名(前年比▲8)でした。
- ②今年度退所者は5名、入院者4名(内骨折2名、インフルエンザ2名)となり空所期間が昨年比増加した。空所期間中、ショートステイの空床利用で稼働維持を図りましたが、前年に比べ稼働率が低下しました。今後は、介護中の事故を発生防止、感染及びケアの研修を実施し、職員に周知させていきたいと思います。
- ③29年度の平均利用介護度は1年間を通して4.2~4.4、経管栄養のご利用者は現在1名です。
- ④家族会を5月に開催し、今回も特養・ショートステイ合同の家族会としました。家族間の繋がりを深め、クラリネット、ピアノ演奏を聴きながら和やかな雰囲気を楽しむ事ができました。
- ⑤広報誌は年間3回の計画が2回に留まりましたが、ご家族へ日頃の様子をお伝える事ができました。

■ケア

【特養】

- ①年間3~4回計画していた全体ミーティングは1回しか実施できませんでしたが、情報共有のため連絡ノートの活用、安全衛生委員会、定例会での資料、ユニットでのミニミーティングで行いました。
- ②ユニットリーダー研修への参加を1名予定したが職員の体調不良で参加できませんでした。
- ③居室の担当者が月1回の清掃チェックを行い、清潔保持に努めました。
- ④経口維持加算算定のため食事ラウンド・経口カンファレンスを開催。経口維持と日々のケアを連動させるためケアプランに経口維持の内容を追記しました。
- ⑤入所者の趣味嗜好などを探り、脳トレ(計算・漢字ドリル、間違え探し)硬筆等の学習療法を提供しました。
- ⑥個別機能訓練対象者が6名(前年比1)となり、実施回数は41回/週と増加し、1年間通して充実した個別機能訓練を実施できました。
- ⑦新人教育は感染について(看護)、ユニットリーダーを中心に業務の流れや、ケア内容を指導。1ヶ月、3ヶ月ごとに面談し、現在の進捗状況を確認、困った事や悩みなどを聞く時間をもうける事でコミュニケーションを図りました。
- ⑧入院中のご利用者の状況把握と退院時のカンファレンス参加でご利用者に負担がないように努めると共に介護スタッフに入院時の生活状況を伝える事で適切なケアを実行できました。
- ⑨H29年度は4名の看取りを行い内3名を看取り加算を算定した。看取り指針に沿い、ご家族、入所者の心身の負担緩和に努め、医師、看護師、ケアマネ、介護士が連動しチームケアを実施できました。

【ショート】

- ①医療ニーズが多様化し夜間の緊急時対応に備え、主治医の夜間対応状況及びご家族の連絡体制を再度見直し夜勤者、看護師が緊急時に迅速に対応できるように努めました。
- ②連絡ノートにより日々の体調変化や情報の共有を図り、利用者の変化を見逃さないように全体ミーティングを開催し業務の流れや個別ケアの統一を図りました。
- ③見学において交通機関が乏しい方は車で送迎し環境を理解してもらう事で新規利用に繋げていきました。
- ④リハビリは生活リハ中心でしたが、1階の平行棒を活用し歩行、立位訓練を個別に実施しました。1日、1回の健康体操(ラジオ、リハビリ、タオル)で心身を早口言葉で嚙下のリハビリにも努めました。
- ⑤体調変化のサインを見逃さず看護、介護、ケアマネの連携を図り、速やかに家族へ報告、医療機関受診を家族へ依頼または受診助し早期対応を心掛けました。
- ⑥新規利用者は特に安全を考慮し新規登録情報を元に環境を整備し転倒リスクの防止に努めました。重度の認知症利用者への見守り等が不足し転倒事故が8件発生しました。
- ⑦物品チェックを確実に入所前、入所後に実施し、物品紛失がないようしました。紛失防止への意識を高め、今年度も紛失や苦情はありませんでした。
- ⑧外出行事を年間3回実施、園内では2ヶ月に1回バイキングを実施する事で桜花台園での生活について『満足度』を上げるられるように努力しました。
- ⑨月次稼働率の目標を90%としていたが、それを下回る月が5ヶ月ありました。ロング、セミロング利用者の施設入所及び急な入院等が続いたことが原因となりました。居宅支援事業所との関係を密に持ち、空所情報を流し新規利用及び既存利用者の日数増加に努めました。年間実績は延べ利用日数3,306日(前年比57)、新規利用者数16名(前年比±0)となりました。29年度の新規利用者数が16名、H28年度の新規利用者数と同じ結果となりました。
- ⑩年間2名インフルエンザを発症、在宅から保菌し利用期間中に発症した可能性が高いと思われます。
- ⑪広報誌の作成を年2回予定していたが年1回留まりました。来年度は是非2回の発行を目指したいと思います。

■利用者諸表(特養)

入所年齢別・性別

(単位:20名)

性別\期間	60~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95~99歳	100歳~	計	平均年齢
男				1	1		1		3	91.0歳
女			2	5	3	3	4		17	88.0歳
計			2	6	4	3	5	0	20	88.6歳

男性 最高 99歳 最低 83歳
女性 最高 97歳 最低 77歳

在所期間		(単位:20名)							
性別\期間	2年未満	2~3年未満	3~4年未満	4~5年未満	5~6年未満	6~7年未満	7~8年未満	8年以上	計
男			2			1			3
女	6	3	1	3				4	17
計	6	3	3	3	0	1	0	4	20

ADL調査表		(単位:20名)			
区分	食事	着衣	入浴	歩行	
自分で出来る	6	2	1	1	
介助で出来る	5	9	8	3	
全然出来ない	8	9	11	16	
経管栄養	1				
胃ろう	0				

問題行動や症状の有無及び内容(重複あり)						(単位:名)	
問題行動	人	率(%)	問題行動	人	率(%)		
徘徊(ウロウロ・落ち着きない)	3	15.0%	独語	3	15.0%		
大声・暴言	3	15.0%					
暴力・介護抵抗	4	20.0%					
収集癖	0	0.0%					
異食	2	10.0%					
不潔行為	5	25.0%					

要介護度状況							(単位:名)	
介護度	I	II	III	IV	V	合計	平均介護度	
男				1	2	3	4.7	
女			3	5	9	17	4.4	
計			3	6	11	20	4.4	

*30年3月末現在の数値で利用介護度とは相違

小規模

■運営

29年度4月は登録17名でスタートし、11月には20名まで増加しH30年3月は19名の登録がありました。新規依頼、相談は南包括支援センターが最も多く、医療機関(特に医療センター)、居宅事業所からの変更依頼やご家族からの直接の相談がありました。

ショートステイの相談件数と比較して小規模の新規相談はショートの5分の1も満たない。従って如何に圏域の包括支援センターや医療機関との繋がりが登録に直結する事が分かる。可能な限り利用相談は受けるように来年度は3~4ヶ月に1回の営業活動をおこないます。

延べ利用者は6,942名(前年比1,004)、内訳 訪問793(640)、通所4,180(▲38)、宿泊1,969(402)

特に訪問は独居の利用者が増加した事で大幅に増加しました。

■ケア

【医療】

H29年度は看取りのなる対象の方はいませんでした。

医療的ニーズの新規相談や癌を発症され入院となるケースがあった。看護師が配属しているので可能な限り医療的ニーズに対応し本人ご家族の要望に応えられるようにしてきました。今後は介護スタッフへの負担を考慮しながら新規受け入れ、利用期間を検討していきます。

ロングステイ利用の方が3~4名で定期診療も増加、看護師を中心に主治医、薬剤師と連携し状況報告しながら体調に応じて往診を依頼し体調管理に努めました。

登録時に褥瘡を形成した利用者のフォローとして医療センターへ受診介助、訪問(処置)、通いの入浴後の処置や主治医の往診で完治するまでに至り、ADLの向上に繋げる事ができました。

【訪問】

独居もしくは高齢者世帯の登録が増加し訪問回数も急増。H29年4月は訪問延べ日数が1日だったのが、8月は44日、11月は112日、最終的に3月は132日となりました。訪問時は主に、服薬管理(介助)、バイタルチェック、安否確認、衣類交換(離床介助等)、買物、通院介助を行っています。

急な体調不良での状態確認及び通院介助、相談事などでの様々なニーズに対応した1年でした。

【リハビリ】

専門職(PT・OT)が在籍していないため、介護職が生活リハや体操、リハビリバイク等のリハ機材を利用しADLの維持に努めました。

高齢者向きの健康、リハビリ体操を1日2回と研修で学んだシナプソロジーを行い、身体と頭の活性化に働きかけました。

全体の体操としてタオル、リハビリ体操を実施してきましたが、新たに足元気体操やごぼう先生の毎日10分の健康椅子体操などを取り入れ下肢の筋力の維持に努めてきました。

【家族会】

12月16日に家族会を実施、5家族の参加でした。普段言えない介護の悩みや愚痴をご家族の中で共有し理解される事ができたと思われまます。また、普段会えない家族間の交流もでき繋がりを持つ事ができました。

【行事】

今年度も普段あまり外出できない高齢者世帯の配偶者も一緒に参加をしてもらい夫婦で一緒に外出する事でより楽しい行事とする事ができました。
 行事の内容は外食:スシロー、久留米市役所の展望台での軽食、キリンビール工場のコスモス見学や石橋文化センターのお花鑑賞等に出かける事ができました。今年度は特に園内行事に特に力を入れ、軽食づくり(パフェ、おはぎ等)、忘年会(ピザ、パスタ、カラオケ等)で楽しんで頂く事ができました。

看護

1 入居者、ご利用者の些細な変化を早めに把握・報告し、嘱託医や主治医の指示により早期受診や点滴等施設で可能な医療の提供により、重症化・重篤化の回避を目指しました。

①他院受診状況

内科12回(4名)、整形外科11回(6名)、フットケア3回(3名)、眼科4回(3名)、眼科往診5回(2名)
 肛門科1回(1名)、耳鼻咽喉科4回(2名)、皮膚科9回(4名)泌尿器科2回(2名)
 乳腺外科3回(1名)、婦人科1回(1名)

入居者の高齢化に伴い、定期的に専門医のフォローが必要なご利用者様が増加しています。

②嘱託医等の往診32回、回診53回

今年はインフルエンザの流行等もあり、往診回数が増加しました。

③博愛病院胸写:入所時5名、定期18名、肺炎疑い等7名

④入院6名 延べ96日(特養のみ)

⑤救急搬送 特養3名、ショート2名、小規模1名

内訳は種々の病態によりSPO2の低下が4名、下血が1名、大腿骨骨折1名でした。

2 夜間医師指示受け及び看護師対応状況

特養	救急搬送	0
	医師への報告	1
	看護師の対応	2
ショート	救急搬送	0
	医師への報告	2
	看護師の対応	5
小規模	救急搬送	1
	看護師の対応	2

医師や看護師に対する電話連絡がさらに減少、夜間の救急搬送は小規模の1件だけでした。

医師の指示により受診等対応を昼間実施と事業所間の夜勤職員の連携の成果です。

今後も定期的に学習会を開催し、介護職員が安心してケアでき、入居者が安心して休息できるように心掛けていきます。

3 感染対策

毎月、感染環境委員会を開催し、感染症・食中毒の予防、蔓延防止に努めた。

4月	5月	6月	7月	8月	9月
スタンダード プリコーション	手指消毒 環境整備	熱中症	食中毒	疥癬	結核
10月	11月	12月	1月	2月	3月
インフルエンザ	ノロウイルス	誤嚥性肺炎 ノウイルス(ラウト)	レジオネラ症	腸管出血性 大腸菌感染症	安全な職場環境

4 褥瘡対策

介護職員向けに6月15日、12月21日に褥瘡対策勉強会を実施

今年度褥瘡形成者6名、全員治癒し現在褥瘡者なし(特養のみ)

5 看取り

特養入所時に入居者、ご家族に看取りケアについて説明

・介護職員向けに5月18日、看取りの学習会実施(看取り介護の指針について)

・4月6日、5月1日、6月28日看取りの学習会実施

特養退所者 5名 うち死亡による退所4名(うち3名が看取り介護加算を算定済)

6 喀痰吸引について

認定を受けた特養介護職員向けに痰の吸引手技確認、心肺蘇生訓練(年4回実施)

7 緊急時対応

窒息時の対応訓練を各事業所で延べ4回ラウンドにより実施。(6、7、8、1、月)

夜間緊急時の対応 年2回実施(4月20日、10月19日)

送迎、訪問時等 異常発見時の対応 年2回実施(5月18日、11月16日)

8 嘔吐者発生時(ノロウイルス感染疑い時)のラウンドによる演習

11月10日(小規模多機能)、11月18日(ショートステイ)、12月11日(特養)に実施

9 新入職員研修

4月1日 感染対策(2名)、5月4日(感染対策1名)、3月19日(感染対策1名)、

9月8日 夜間緊急時の対応(1名)・・・当直する職員のみ実施

10 感染症罹患

インフルエンザ感染症はご利用者4名、職員5名の罹患が発生しました。

全職員にインフルエンザ感染に関するアンケートを実施し、その結果に基づき対策を検討し報告しました。

30年度については反省を踏まえ、嘱託医による勉強会を実施予定。

■行事实績(施設全体)

実施時期	行事名	内容・成果
4月10日	慰問:合唱	慰問 明善OB「合唱団虹」
5月10.13.16日	外出行事:小規模5名	久留米市の名所をバスの中から花見鑑賞
4月11日	外出行事:小規模・5名	買物ツアー、サンリブ
4月12日	外出行事:特養・4名	マジックショー
5月8日	慰問	ハーブ演奏
5月15.16	外出行事:小規模	石橋文化センター 薔薇フェア
5月16日	外出行事:ショート9名	石橋文化センター 薔薇フェア
5月17日	外食:特養4名	スシロー
6月4日	初夏祭り	出店、出し物
6月19.24	軽食づくり:小規模	ホットケーキ
6月27日	外出行事:ショート8名	久留米市役所 展望台 見学、軽食
7月11.19	外出行事:小規模 15名	久留米市役所 展望台 見学、軽食
8月8. 11. 24	軽食づくり	パフェづくり
8月26日	慰問	鶴の会
9月22.28	軽食づくり:小規模	おはぎづくり
9月30日	敬老会	式典
10月3日	外食:特養3名	スシロー
10月17.20.30	外出行事:小規模17名	ドトールにて軽食 北野キリンビール工場 コスモス見学
10月30日	外出行事:特養2名	ゆめタウン 買物
11月4日	演奏会(久留米工大吹奏楽部)	吹奏楽演奏
11月9.13.20	外出行事:小規模 16名	高良山紅葉見学
11月15日	慰問	鶴の会
11月21日	外食:特養2名	ゆめタウン
12月9日	忘年会:小規模	カラオケ、ピザ、パスタ、ケーキ
12月19日	クリスマス会	二人婆織、ハンドベル、プレゼント、ハーモニカ演奏
1月15日	外出行事:小規模15名	初詣:日吉神、七木地藏
1月15日	外出:ショート8名	初詣:高良大社
2月16日	軽食づくり:小規模	おはぎづくり

定例行事

実施回数	行事名	内容・成果
9回	バイキング(小規模・ショート) *特養は 4回参加	季節に合わせたバイキング形式の昼食
6回	散髪	訪問散髪
9回	横山先生の音楽リハビリ	音楽に合わせたリハビリ、合唱

■ 研修実績(外部)

実施時期	研修名	内容・成果
5月9.18	社会福祉施設役職員研修新任職員研修・基礎研修:1名	接遇、マナー実践 人権学習、対人援助スキルアップ
5月20日	特養:ショート家族交流会	自己紹介、レクリエーション。クラリネット。ピアノ演奏会
5月26日	定期総会:3名	H28年度事業報告、29年度事業計画・役員改選
5月29日	災害避難訓練	火災以外の水害や地震を想定した訓練の実施
6月22日	南圏域事業者意見交換会	景福会の地域に向けた取り組み
6月29日	南圏域医療、介護従事者交流会:2名	グループワーク等
6月30日	接遇研修:4名	現場目線で楽しく学ぶ
7月6日	在宅医療従事者研修会:1名	病院での看取り事例
7月10日	介護施設等看取り研修会:1名	介護施設における看取り支援
7月19日	退院調整ルール策定の取り組みに関する意見交換会:2名	退院調整のルール策定状況について ケアマネージャーアンケート調査結果・グループワーク
7月20日	看護小規模 上村座(講演)	栄養士から講演(サルコペニアについて)
8月3日	第1回 栄養教室	・高齢対策について(市役所) ・『楽しく続けよう、認知症予防』 渡辺先生 ・認知症予防についての食事
8月23日	生活相談員研修:1名	地域包括ケアシステムにおける相談員の役割とは
9月12日	第1回 栄養講演	サルコペニアについて
9月22日	小規模部会研修:3名	介護職員研修
9月28日 10月31日 11月28日	高齢者権利擁護等推進研修看護 実務者研修:1名	身体拘束の基礎知識等
10月12日	第2回 栄養教室	津村先生より『健康寿命を延ばすための講話』 体力測定・栄養相談
10月16日	避難訓練	年2回の訓練 日中想定
10月17日	看護研修:1名	ストレス対処法
11月11日	あったかホームコンサート 1名	ハイオリン演奏 認知症カフェ 表彰
11月13日	小規模部会研修:1名	より良い計画作成担当者を目指すために
12月2日	感染予防研修:2名	感染管理セミナー 「感染症にならない為に」「正しく使おう個人防護服」 「ノロウイルス対策」演習:適切な手指衛生方法、吐物処理方法
12月12日	身体拘束研修:1名	身体拘束ゼロ施設見学 柳川 介護老人福祉施設 水郷苑
12月16日	小規模家族会:5家族	管理栄養士より講話 シナプソロジー、家族、職員紹介
2月20日	第17回 認知症事例検討会	『認知症夫婦に対し、小規模多機能が行っている支援の実際』 事例発表:久留米大学
3月9日	避難訓練	年2回の訓練 夜間想定
3月15日	第3回 栄養教室	認知症についての講話:山崎院長 バイキング

■研修実績(内部)

実施時期	研修名	内容・成果
4月16日	排泄	排泄のケア
4月16日	緊急時対応	救命救急
5月1日	看取り研修	講師:看護師 家族の看取り事例
5月29日	避難訓練	災害時避難訓練
6月1日	新任研修	接遇、介護施設での役割
6月15日	熱中症	熱中症予防
7月20日	食中毒	事例検討
6月30日	認知症	研修報告
7月8日	食中毒	事例検討
7月26日	褥瘡	褥瘡予防
8月17日	感染予防	疥癬について
8月28日	生活相談員研修	地域包括ケアとは
9月21日	感染予防	結核について
9月27日	医療研修	フットケア研修会
10月15日	介護スタッフ研修	リーダー研修
10月17日	外部講師研修	シナプソロジー 講師:木原先生
10月19日	感染予防	インフルエンザについて
11月12日	感染予防	ノロウイルスについて
11月30日	認知症研修	認知症の利用者への関わり方
12月11日	感染予防	感染予防について
12月30日	身体拘束廃止	施設見学、取り組みについて
1月28日	倫理	倫理規定について
2月13日	事故防止	リスクマネジメント研修
2月25日	入浴	入浴ケアについて
3月14日	口腔ケア	口腔ケアについて
3月28日	虐待	虐待事例など

■地域交流

実施時期	行事名	内容・成果
8月11日	高良内校区夏祭り	「よかつさい」祭りに参加
7月11日	第1回 介護予防教室:42名	講師:木原 茂利氏 「学んで笑って健康貯金」
9月7日	保育園との交流会	ニュータウン保育園児による合唱、演劇等
9月24日	第1回 青峰小学校交流会	青峰小学校生徒の踊り等
10月10日	第2回 青峰小学校交流会	施設見学等
10月19日	高良内小学校交流会	施設見学、施設概要説明、合唱
10月28日	明星中学校人権のつどい	作品展示
11月10日	第3回 青峰小学校交流会	合唱、交流会(メンコ、あや取り、トランプ、折り紙、お手玉)
11月12日	第2回 介護予防教室:37名	『認知症 あなたはしていますか』南包括より講話
11月18.19日	高良内校区文化祭作品展示	利用者の手作りの貼り絵、小物作品を展示
12月3日	青峰校区文化祭	作品展示・餅つき
3月1日	介護予防教室:28名	悪質商法の手口と撃退法
3月21日	介護フェスタ(南包括主催) 桜花台園にて	桃太郎太鼓、地域の先生たちによる座談会 シナプソロジー体験等

唐孔雀園、桜花台園(栄養・地域配食)

■運営

・年間栄養課目標

- ①栄養ケア計画書を中心とし、入所者の身体状況を把握し、特徴・問題点を捉えた日々のケア・アセスメントを通して、個々の状態にあった食形態を提供する。
- ②常に専門知識と技術の向上に努め、多職種と連携を図り質の高い食事サービスを提供する。
- ③桜花台園、小規模多機能・ショートステイのバイキングの実施(隔月)。

結果

- ①唐孔雀園は毎週木曜日、桜花台園は1回/月に栄養カンファレンス(メンバー:施設長・施設課長・看護主任・ケアマネ・PT・各ユニット代表・総務、委託栄養士・管理栄養士)を実施し、常に利用者様の状態にあった食事を提供できるように、摂取量・水分量・体重変動・皮膚状態嚥下状態・検査値に基づいて対応しました。また、施設課との連携を密にして日々の体調変化にも迅速に対応しました。継続して経口維持ラウンド、会議に取り組みました。(メンバー:医師・施設長・施設課長・看護主任・ケアマネ・PT・各ユニット代表・管理栄養士)経口摂取に問題のある方、誤飲誤嚥のあるリスクの高い方に対し、唐孔雀園では第1、第3月曜日の11時からラウンド、14時から会議を行いました。桜花台園では第2火曜日の11時からラウンド、15時から会議を行い、安心、安全に経口摂取し頂けるよう多職種で意見を出し合い対応しました。
- ②桜花台園、小規模多機能・ショートステイのバイキングについては、予定通り開催

・施設目標

- ①栄養ケア計画の充実
- ②桜花台園、小規模多機能・ショートステイのバイキング開催。

結果

- ①前述した栄養カンファレンスにより、1人1人に細やかな対応をとることができました。
- ②桜花台園、小規模多機能・ショートステイのバイキングについては、担当職員と打ち合わせを行い、利用者様にも直接リクエスト等を聞きながら献立を考え、食事の提供を行いました。バイキングは特養の常食ご利用者様もショートステイのご利用者様と一緒に参加されています。ご利用者様からも好評なため今年度も引き続き行って行きたいと思っております。

・配食サービスの目標

配達総数は前年度6,182食、29年度10,436食でした。

今年度より栄養課で配食サービスを実施するようになり、契約段階から栄養士が取り組み、低価格の弁当も提供し、ご利用者様に選択していただけるようになりました。

居宅支援事業所等に訪問しPR活動を行った結果、食数は増加しましたが、利益にはつながりませんでした。利用者宅に定期訪問を行い、細やかな対応ができたと思っておりますが、配食サービス利用者を如何に当法人のサービスにつなげるか、如何に収支バランスをとっていくのか検討が必要と感じています。

・地域支援プロジェクトの目標

地域との交流・貢献と法人PRを兼ねて、今年度は以下の計画を実施しました。

①料理教室

東国分公民館	離乳食・乳幼児期おやつ教室(10/3)
第七町内公民館	乾物を使った料理(6/21)・スタミナ料理(7/26) スキムミルク、ヨーグルトを使った料理(9/27)
高良内公民館	おせち料理をリメイク(12/13)・鶏肉料理(2/14) 身近な食材で簡単料理(10/18)

②栄養教室

介護予防(地域で共に支える)栄養教室を、3回シリーズで行いました。

第1回 8/3 高齢者福祉制度について・介護予防手帳の説明
楽しく続けよう認知症予防 渡辺医院 院長 渡辺大介医師

第2回 10/12 健康寿命を延ばすためには つむら診療所 院長 津村直平
栄養寸劇・身体計測

第3回 3/15 認知症予防 博愛病院 院長 山崎剛
第2回の身体計測を素にしたバイキング

11/30、東国分校区社会福祉協議会主催のいきいきサロンでの栄養教室参加 栄養寸劇

③「防災の日」について

今年度は、炊き出し訓練を行わず、ご利用者様に防災の日の意識づけを兼ねて、ランチョンマットを作成し、 Disposable食器にて食事の提供を行いました。

■衛生管理

個人の衛生管理、食品の取り扱い衛生管理等はマニュアルに沿って実施しました。

■行事实績

実施時期	行事名	内容・成果
5月5日	子供の日	お茶プリンを提供
5月21日	開園記念祝膳	赤飯・紅白饅頭等の祝膳を提供
7月7日	七夕膳	七夕そうめん・七夕ゼリー等提供
8月14日	精進風料理	お盆入りのため、精進風料理(そうめん・和え物)を提供
9月1日	防災の日 非常食	防災のランチョンマットを作成。献立はおにぎり・漬物・豚汁・さんま缶・ヨーグルト・バナナ・ビスコ
9月18日	敬老膳	ランチョンマット作成。赤飯、ぶりの照り焼き、5色煮、紅白なます、果物、茶碗蒸し、お吸い物、まんじゅう
10月31日	ハロウィン	かぼちゃポーロを提供
12月24日	クリスマス膳	チキンライス、ミートローフ・コロッケ盛り合わせ、3色サラダ、クリスマスケーキ、南瓜スープ
1月1日	おせち	昼・夕おせちを提供
2月14日	バレンタインデー	チョコプリンを提供
3月3日	ひな祭り	散らし寿司、めびなまんじゅうを提供

小規模多機能 バイキング

実施時期	内容
5月24日	かしわおにぎり、そば、そうめん、トッピング(海老、南瓜、オクラ、牛肉、錦糸卵) 野菜の煮合わせ、フルーツ、アイスクリーム、ジュース
7月29日	ひじきおにぎり、茶そば、そうめん、天ぷら(海老、なす)、鶏肉の煮物、野菜の煮合わせ どらやき、フルーツ、ジュース
10月4日	パン(3種類)、ビーフシチュー、さつま芋サラダ、炊き合わせ、オニオンリング、デザート、ジュース
11月28日	手巻き寿司、トッピング(野菜、納豆、梅、エビ、ウインナー、厚焼き玉子) 茄子の煮物、辛しマヨ和え、味噌汁、プリンアラモード、肉まん、ジュース
1月16日	チャーハン、ラーメン(塩、とんこつ)、チャーシュー、煮卵 大根なます、ぎょうざ、マンゴープリン、ジュース

ショートステイ

実施時期	内容
6月23日	かしわおにぎり、そば、そうめん、トッピング(海老、南瓜、オクラ、牛肉、錦糸卵) 野菜の煮合わせ、フルーツ、アイスクリーム、ジュース
8月30日	のりおにぎり、焼きそば、焼き鳥(3種類)、冬瓜のきのこあんかけ フルーツポンチ、今川焼き、ジュース
10月27日	パン(3種類)、ビーフシチュー、さつま芋サラダ、炊き合わせ、オニオンリング、デザート、ジュース
12月26日	手巻き寿司、トッピング(野菜、納豆、梅、エビ、ウインナー、厚焼き玉子) れんこんの煮物、辛しマヨ和え、味噌汁、プリンアラモード、肉まん、ジュース

■研修会

実施時期	研修名	内容・成果
3月19日	特定給食施設研修会	在宅医療における訪問栄養指導について
6月22日	特定給食施設研修会	平成28年度巡回指導及び栄養報告書結果報告、平成29年度巡回指導方針
10月12日	在宅介護・介護スキルアップ研修	講師として「栄養管理と栄養活動」について研修実施